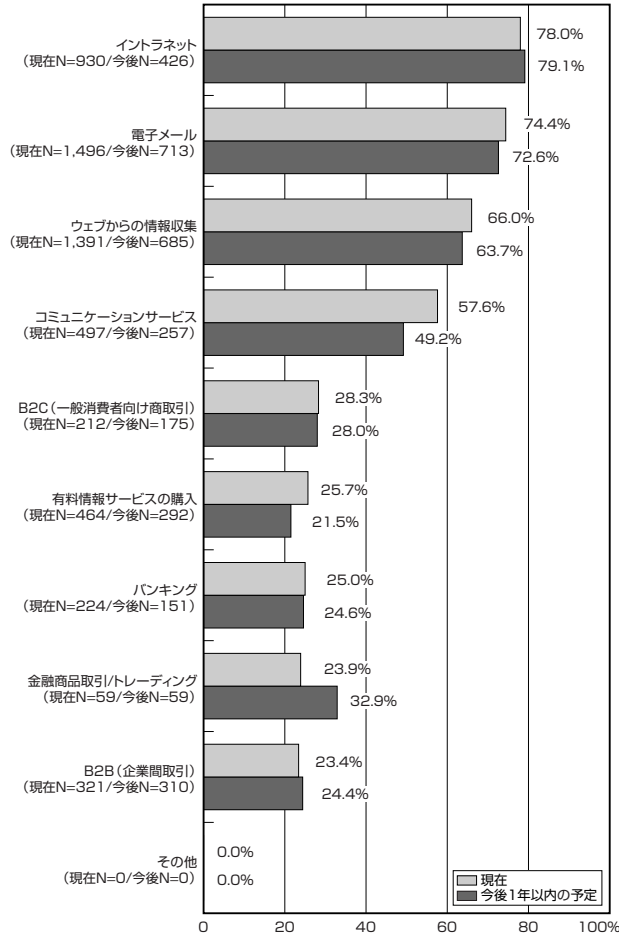
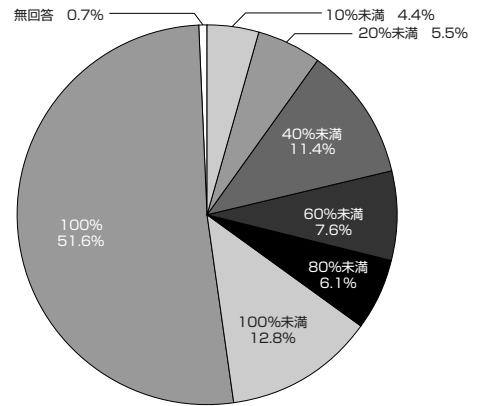


資料 1-4-21 利用内容ごとの対従業員数の平均利用浸透率 (現在/今後1年以内の予定)



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

資料 1-4-22 従業員に対するメールアカウント発行比率 N=1,662



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

解説

く「ウェブからの情報収集」(96.1%)も電子メール同様利用率が高い状況は昨年と同様である。今年の特徴は3位の「イントラネット」で、昨年は「イントラネット/エクストラネット」として聞いたが、47.7%から75.6%と急伸した。また、4位以下の項目はすべて今後1年以内の利用予定が現在の利用率を上回っており、伸びが期待できる。特に「B2B(企業間取引)」、「B2C(一般消費者向け商取引)」や「バンキング」については期待が高い。

内容の各項目ごとに利用率は異なるが、その項目を利用している企業に従業員数

に対するパーセント比率を記入してもらい、その平均値をグラフ化し、『利用浸透率』としたのが資料1-4-21のグラフである。昨年と比較すると、全般に各項目ともに従業員全体に対する利用浸透率は高まってきた。最も高いのは昨年に引き続き「イントラネット」の浸透率である。ただし昨年まではB2B(企業間取引)やB2C(一般消費者向け商取引)を選択肢として分けていないため、「イントラネット/エクストラネット」に含まれていたと考えられ、単純に比較できない点もある。「電子メール」の浸透率は昨年の65.3%から

74.4%と伸びており、社員へのメールアカウント発行比率と相関して高くなってきている。ここでも今後の利用の浸透が期待できるのは現在の利用浸透率を上回っている「イントラネット」「金融商品取引/トレーディング」といえる。

従業員に対する「電子メール」のアカウント発行比率は従業員数を100%として、その100%に発行が行き渡っている企業が今年初めて半数を超えた。

(矢野さよみ アクセスメディアインターナショナル株式会社)



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)